

第12号(2023)



与那原町史だより

——与那原の民俗 🍡 芸能——



与那原町史編集事業の一年

『与那原町史 図説編 自然と人』 発刊

2022年3月25日、『与那原町史 図説編 与那原 自然と人』を発刊致しました。聞取調査や情報提供頂いた町民の皆様へ感謝申し上げます。本書は、町内の自然を人との関わりを中心に編集した1冊となっており、写真や地図、町内在住の昔の与那原を良く知る方々への聞取調査の内容を中心に掲載し、オールカラーで編集しました。価格は1,000円（税込）、紙面には掲載できなかった町内の動植物の写真をもとめたDVD付きの書籍となっております。DVDに収録されているデータを印刷すると小冊子になり、持ち運びできるようになっております。是非ご活用ください。生涯学習振興課（町役場2階）で販売しています。町立図書館や各区公民館、町内教育機関にも配本されていますので、ぜひこの機会にお手にとってご覧ください。



『与那原 自然と人』販売中



DVD 収録データの小冊子版

企画展

例年6月に開催する平和企画展ですが、2022年は沖縄県本復帰50周年事業の一貫として総務課と合同で行ないました。パネル展示は町民ホール（役場1階）で5月26日～6月21日で開催し、多数の方にご覧頂きました。6月23日の慰霊の日には上の森かなちホールでドキュメンタリー映画「沖縄戦」上映会や与那原の戦没者1969名の氏名を読み上げる集会「与那原戦没者の名前を呼ぼう」が行なわれ、併せて会場内に平和企画展で展示したパネルの一部と平和の礎を元に与那原の戦没者一覧を展示しました。

復帰50周年記念企画展として「1972before,after～庶民のくらし～」を大綱曳資料館で7月1日～8月1日まで開催致しました。主に庶民の暮らしに視点を置き、政治や制度、経済、生活に関する展示を行いました。若夏国体に使用されたトーチや記念バッジ、旧紙幣などを中心に展示し、パネルの一部は来場者の方にドルを使用していた時代の思い出を記入するコーナーを設置致しました。



企画展展示物



上の森かなちホールでの展示風景



与那原の戦没者一覧展示風景

「与那原町史 図説編 与那原 民俗・芸能」発刊事業開始

2022年5月末より、『与那原町史 図説編 与那原 民俗・芸能』編集事業がスタートしました。専門部会委員には、赤嶺政信（琉球大学名誉教授）、崎原恒新（学識経験者）、波平エリ子（沖縄女子短期大学准教授）、上原忠（地域有識者）、鈴木耕太（沖縄県立芸術大学芸術文化研究所准教授）の5名へ委嘱されました（敬称略）。

『与那原 民俗・芸能』も文献調査や聞き取り調査をもとに与那原の時代と共に変化してきた部分を掲載する予定です。発刊は、2025年3月末予定です。

聞き取り調査や文献調査で得られた情報は、毎月の町広報誌や企画展、『町史だより』でも随時ご報告してまいります。今後とも与那原町史編纂事業へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



委嘱状交付式



専門部会の様子

調査状況

2022年は文献調査が中心となり、町史が発刊している既刊の書籍や明治時代の新聞記事、その他与那原の民俗・芸能に係りのある近隣市町村の市町村誌などを収集しました。野外調査は綱曳に関する行事を中心に調査し、アブシバレーや綱曳に関する御願、各区による綱作り、上与那原の綱曳などを調査し写真撮影を行いました。ご協力頂いた皆様ありがとうございました。

2023年は今年収集した資料を基に不足している資料や、民俗・芸能に関する写真資料の収集、町内在住の昔の与那原を良く知る方々へ与那原の商業や暮らし、芸能に関する聞き取り調査を実施予定となっております。感染症対策を行いながら実施致しますので、是非ご協力のほどよろしくお願い致します。



撮影風景



調査風景



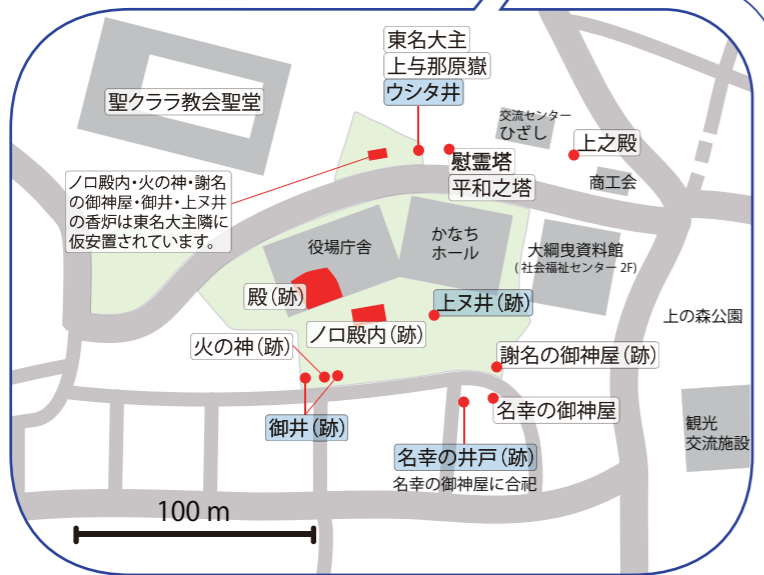
文献調査で収集した資料

与那原町 文化財マップ

https://ty-gakushin.jpn.org/tsunahiki/bunkazai/list_map.html



- 凡例 —
- 町指定文化財
 - 国登録文化財
 - 井戸
 - 石獅子
 - 複数または範囲
 - 地名
 - 位置未確認
 - 大規模施設



久茂久岩



親川



御殿山



前の井



久葉堂・久葉堂の大アカギ



三津武嶽

民俗編コラムバックナンバー

町教育委員会では調査で得た情報を町民の皆様にお伝えする機会として、広報よなばるに民俗編に関するコラムを掲載しています。このページでは 2022 年度全 12 回の中から 4 つのコラムをピックアップし再構成して掲載しています。

2022

4月
新暦と旧暦

5月
ハーリー

6月
ウマチー

7月
大綱曳

8月
旧盆の供え物

9月
ヨーカビー

ハーリー

5月になると子ども達が待ち遠しいのがゴールデンウィークだと思いますが、ゴールデンウィーク中に行われる行事の中にハーリーがあります。有名なハーリー行事に新暦の5月3日～5月5日に那覇で行われる那覇ハーリーがあります。

もともと旧暦5月4日に行われる競漕行事で、ハーリーは＜爬虫＞の中国音で竜の事で競漕に用いる船はへさきに竜頭、ともに竜尾の彫り物で飾られています。ハーリーの目的は豊漁祈願、海上安全を願う物といわれています。

町内でハーリー行事を行っているところは当添区です。明治時代後期から始まり昭和39年に一度途絶えています。しかし、昭和54年に復活し今なお続いています。ハーリーの前にはウガンを行い、毎年当添区ハーリー実行委員会のシンルー達による模範バーリーの後、小中学生、女子、職域の部で競います。ここ2年ほどはコロナの影響で中止となっていますが、毎年行われている行事の為楽しみにしている方も多いのではないのでしょうか？今年こそはハーリーが見られることを期待しましょう。



2019年の当添ハーリーの様子

旧盆の供え物

旧盆は旧暦7月13日から15日（地域によっては16日まで）の期間で行われます。1日目をウンケー（御迎え）、2日目をナカヌヒー（中の日）、3日目をウークイ（御送り）と言います。ウンケーの日、現在では仏壇にバナナやスイカ、みかん、パイナップル、りんご、メロンなど市販の果物をお供えしている家庭が多いとおもいます。以前はアダンの実やナシカズラ、バンジロウやコクタンの実などをお供えしていたようです。果物の他にも、サトウキビ、ガンシナ等も供えますが、長いサトウキビはグーサンウージと言い、ウークイ後に祖霊が土産物を持って帰る際の担ぎ棒、または杖がわりに使うと伝えられています。ガンシナは女性が荷を頭の上のせて運搬する際に用いる輪型の敷物で、これも同様に土産物を持ち帰る際に使えるように供えています。

時代の変化とともにお供え物も少しずつ変化しているようですが、今年もお盆に帰ってくるご先祖様の霊を気持ちよくお迎えしたいですね。



1966年 旧盆の仏壇



アダン（方言名：アダニ）の実

10月
龕

11月
石獅子と
ヒーマーチ

12月
戦前与那原の
風景

2023

1月
ムーチーが
ない理由

2月
あの世の正月

3月
石獅子

戦前与那原の風景

戦前の与那原には日本軍の基地があり、軍事上の理由で風景写真などはもともと少なかったと言われていたのですが、その数少ない戦前与那原の風景を伝える資料も戦災で失われ非常に稀です。

そうした中で幼少期を与那原で過ごした画家、野津唯市氏（1927-2013）が戦前の与那原を題材にした作品をいくつか残しており、2012年に野津氏から3点、2014年にご家族から1点の計4点をご寄贈頂き与那原町で所蔵しています。

その中の「糸ーがーでいごの花の咲いた頃」「ふにぬけーりーんどー」「う殿山浜懐古」の3点は、かなちホールのエントランス通路に常設展示されており自由に見ることができます。

戦前与那原のイメージを鮮やかに伝える得がたい資料であることは言うまでもありませんが、画家としても高く評価される野津氏の美しい大型油絵（F100号）です。町役場／かなちホールにお越しの際にはぜひご覧ください。

また、野津氏は遊び心溢れる作風で知られ、よく見ると「キジムナー？」や動物などが絵の中に隠されています、あなたはいくつ見つけられるでしょうか？



う殿山浜懐古



糸ーがーでいごの花の咲いた頃

あの世の正月

みなさんは沖縄のお正月が意外にも長いことをご存知ですか？新暦1月1日、旧暦1月1日そして旧暦1月16日と3回お正月があり、1月16日はジュウルクニチと呼ばれ、首里文化の強い地域では比較的小規模で、影響の少ないところでは盛大に行われます。特に宮古・八重山では盛大に行われているようです。一般的には重箱料理をこしらえ、墓参りをして料理を供え、ウチカビ（あの世のお金）を焼いて祖先供養をします。与那原でも地域によって行われているようです。

旧暦1月20日のハチカショウガツも正月と名前についていますが、これは正月ではなく正月の残りのスーチカー（豚肉の塩漬け）、あるいはタームニー（田芋の煮物）などを火の神、仏壇に供え正月の終了を報告する家族中心の行事で、別名「ウワイ正月」とも言われています。板良敷では1980年代ごろまではこの日に正月飾りを取り払っていたようです。

沖縄のお正月は長いので注連飾りや門松などの縁起物を飾っている所はハチカショウガツの頃まで飾っていてもいいかもしれませんね。



お墓に持参する御馳走も現在はスーパーなどで手軽に購入できます



ウチカビ

参考文献一覧

沖縄大百科事典 上巻 沖縄タイムス社 1983年／琉球新報
沖縄大百科事典 下巻 沖縄タイムス社 1983年／琉球新報
ハンドブック沖縄の年中行事 崎原恒新著 1989年／沖縄出版
与那原町当添史 仲里全良著 1986年
野津唯市画集「懐かしい未来 沖縄」(2012) 球陽出版

聞取調査実施予定

町教育委員会では民俗編発刊に際して、感染症対策を行いながら聞取調査を計画しています。同時に聞取情報を元に行事や日常生活の再現撮影も行っています。2023 年も様々なお話しをうかがいたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。



自然編の調査の様子

既刊資料のご案内

町史既刊資料は町立図書館で閲覧することができます。

また、本庁舎 2 階生涯学習振興課窓口では平日の 9:00 ~ 15:00 の時間内で販売も行っております。ご購入の際は釣り銭が無いようお願いいたします。

与那原町史 序説・むかし与那原
昭和 63 年 3 月 2000 円

よなばるの民話
平成 2 年 3 月 1000 円

与那原の学童集団疎開 第 1 部体験集
平成 7 年 8 月 1500 円

与那原の学童集団疎開 第 2 部資料編
平成 10 年 3 月 2000 円

沖縄演劇の巨星・伊良波尹吉物語 奥山の牡丹
平成 10 年 3 月 1890 円

与那原町史資料編 1 移民
平成 18 年 6 月 1500 円

情報収集

聞取調査と共に、民俗編で用いる行事・芸能の写真を集めています。

例：戦前・復帰前の年中行事

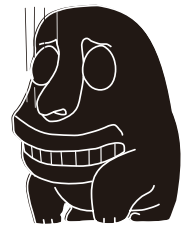
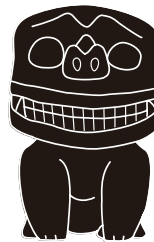
獅子舞やエイサー、村芝居

軽便鉄道や軌道馬車など交通に関するもの
ユーフルヤー

与那原町内で行なわれていた商業演劇

沖映など劇場

これらの写真をお持ちの方は町史までご提供いただきたく存じます。写真はスキャン後に返却いたします。



与那原町史戦時記録編 与那原の沖縄戦
平成 23 年 3 月 町内 2500 円 町外 3000 円

与那原町史資料編 戦後の与那原
平成 28 年 3 月 2000 円

与那原町史図説編 与那原 教育の歩み
平成 31 年 3 月 1000 円

与那原町史図説編 与那原 自然と人
令和 4 年 3 月 1000 円

与那原町史だより 第 12 号

令和 5 年 3 月 1 日発行

与那原町教育委員会

生涯学習振興課 町史編纂係

〒901-1392

沖縄県島尻郡与那原町字上与那原 16 番地

TEL : 098-871-9981

FAX : 098-944-3365